

主な質疑項目

2012.5.10.

1. リストラ施策、SMP 見直しについて

本年 2 月 2 日発表のリストラ施策について実施を加速し、実行の期間を約 3 年から 2 年程度に短縮するつもりである。

検討中の追加策については、現金支出費用を増やすことなく、メリット額を上積みが出来ないか検討中。上積み分は今年度というより来期以降に顕われると思う。これは戦略的経営計画（SMP）の見直しにも繋がっていくが、いずれにしてもまとめ次第別途報告したい。

2. のれん・無形資産減損について

前期(2012 年 3 月期)において、のれん・無形資産について減損テストによる資産減損会計処理は不要であった。今期(2013 年 3 月期)についても、減損が必要となる想定はしていない。

3. ソーラー事業

前期(2012 年 3 月期実績)の当社の販売量は、前々期(2011 年 3 月期)とほぼ同水準であった。前期は下半期に減少したが、その下半期レベルで今期は推移すると想定している。中長期的には成長する事業であると考えている。

4. 2013 年 3 月期業績見通しについて

各事業について市場環境の顕著な回復は想定しない前提としている。

前年度からの営業利益（無形資産償却前・個別開示項目前）の改善が約 80 億円になる。うち約 50 億円はリストラ施策の効果であり、残りは、これまで実施してきた設備投資・効率改善の効果が現われることと、前年にみられた東日本大震災・タイの洪水による需要変動による操業上の混乱の解消による。

5. リファイナンス

今期のフリーキャッシュフローはニュートラルと想定。運転資本の改善を主とする。またリファイナンスについて問題ない。

以 上